

平成22年度成年後見研修会の報告



主催：日本行政書士会連合会中央研修所

日本行政書士会連合会中央研修所の平成22年度成年後見研修会が平成23年2月9日（第1時限～第3時限）、10日（第4時限～第6時限）の2日間、東京都目黒区青葉台の行政書士会館地下講堂で開催されました。

中央研修所の平成23年度事業計画に基づき、成年後見制度の正しい理解と行政書士として取り組む成年後見業務及び倫理面を包括した内容で、各単位会において会員向けに研修を行うにあたりその担い手を育成するために開催するものです。全国から75名が参加しており、北海道会からは、一般社団法人北海道成年後見支援センター森越博嗣理事、酒匂桂子理事が参加しました。

東京でなければそろわない講師陣による研修は、今後の北海道会の成年後見研修に反映されるものとなるでしょう。

◇研修プログラム◇

第1時限	「成年後見制度と現状と課題」 筑波大学法科大学院 教授 新井 誠氏
第2時限	「家庭裁判所における成年後見事件の運用の実情」 最高裁判所事務総局家庭局付 作田 寛之氏
第3時限	「任意後見契約の際の留意点」 神田公証役場 公証人 秋山 壽延氏
第4時限	「横浜市における区長申立ての状況について」 横浜市保健福祉局 福祉保健課課長 深川 敦子氏
第5時限	「成年後見への取り組みにあたっての留意点」 第二業務部 専門員 桑 智仁氏
第6時限	「設立後の現状と課題」 コスモス成年後見サポートセンター理事 田後 隆二氏

この研修会で使用した資料は、後日、日行連HP等を通じ各単位会に提供される予定です。